

令和3年度第3回君津市総合建設審議会次第

日時 令和3年8月19日（木）

午後2時から

場所 君津市役所議会全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

君津市総合計画 基本構想（案）について（諮問）

4 そ の 他

5 閉 会

《配布資料》

資料1…君津市総合計画 基本構想（素案）に係るまちづくり意見公募
手続の実施結果について

資料2…君津市総合計画 基本構想（案）概要（修正箇所赤字）

資料3…君津市総合計画 基本構想（案）概要

資料4…君津市総合計画 基本構想（案）

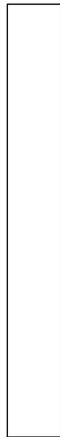
君津市総合建設審議会席次表

日時 令和3年8月19日（木）
午後2時から
場所 君津市役所議会全員協議会室

伊澤副会長 高橋会長 石橋副会長



川名 寛章 委員
平田 悦子 委員
佐久間 宏行 委員
天笠 寛 委員
渡邊 由希夫 委員
関口 牧江 委員



橋本 礼子 委員
下田 剣吾 委員
佐藤 葉子 委員
松本 裕次郎 委員
鈴木 高大 委員
小林 聡 委員



総務次長 市 長 企 画 財 政
錦織 弘 石 井 宏 子 竹 内 一 視 和 田 祐 一



市民環境部長 保健福祉部長 経済部長
茂田達也 嶋野晃広 鈴木広夫



事務局



建設出口長 教育安部長 消防長
勝 吉司 榎本弘

出入口

出入口

事務局

事務局

総合建設審議会委員名簿

総合建設審議会委員

No.	氏名(敬称略)	団体名等	備考
1	高橋 明	市議会議員	会長
2	橋本 礼子	市議会議員	
3	下田 剣吾	市議会議員	
4	佐藤 葉子	市議会議員	
5	松本 裕次郎	市議会議員	
6	鈴木 高大	市議会議員	
7	伊澤 貞夫	教育委員会委員	副会長
8	石橋 定雄	農業委員会会長	副会長
9	佐久間 宏行	君津市農業協同組合常務理事	
10	天笠 寛	君津商工会議所副会頭	
11	渡邊 由希夫	君津市自治会連絡協議会会長	
12	関口 牧江	君津市赤十字奉仕団副委員長	
13	小林 聡	君津木更津医師会委員	
14	川名 寛章	県議会議員	
15	平田 悦子	県議会議員	
16	小関 常雄	日本製鉄(株)東日本製鉄所総務部君津庶務室長	

執行部出席者名簿

所 属 等	氏 名	備 考
市 長	石 井 宏 子	
総務部長	荒 井 淳 一	代理出席 総務部次長 錦織 弘
企画政策部長	竹 内 一 視	
財政部長	和 田 祐 一	
市民環境部長	茂 田 達 也	
保健福祉部長	嶋 野 晃 広	
経済部長	鈴 木 広 夫	
建設部長	出 口 勝	
教育部長	安 部 吉 司	
消防長	榎 本 弘	
企画政策部次長	高 橋 克 仁	
企画課長	馬 場 貴 也	
企画課副課長	中 村 峰 之	
企画課計画推進係長	山 口 悟	
企画課副主査	東 聡 年	
企画課主任主事	石 井 悠 太	

○君津市総合建設審議会条例

昭和46年6月10日

条例第71号

改正 昭和46年9月1日条例第74号

昭和56年4月1日条例第4号

(設置)

第1条 本市に、君津市総合建設審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、市の総合建設計画の策定及びその実施に関し審議し、必要な調査を行う。

(組織)

第3条 審議会は、委員18人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市議会議員 6人以内
- (2) 教育委員会の委員 1人
- (3) 農業委員会の委員 2人以内
- (4) 公共的な団体を代表する者 6人以内
- (5) 知識経験を有する者 3人以内

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職にあるため委員となった者は、その在職期間とする。

4 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は非常勤とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長1人、副会長2人を置く。

2 会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、委員のうちから会長が任命する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 会長、副会長ともに事故あるときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、必要に応じ会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は市長の定める機関において処理する。

(市長への委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和46年9月1日条例第74号)

この条例は、昭和46年9月1日から施行する。

附 則 (昭和56年4月1日条例第4号)

この条例は、昭和56年11月1日から施行する。

君津市総合計画 基本構想（素案）に係るまちづくり 意見公募手続の実施結果について

企画政策部

令和 3 年 6 月 2 9 日から令和 3 年 7 月 2 8 日まで意見募集を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

1 意見の件数

意見数 7 2 件（提出者数 9 人）

2 提出方法

持参	3 件（2 人）	郵送	0 件（0 人）
Fax	1 6 件（1 人）	電子メール	5 3 件（6 人）

3 意見の概要及び市の考え方

市の対応区分

対応区分		意見の件数
A	意見をもとに、施策案を修正したもの	9 件
B	意見の考え方が施策案に含まれていたもの	6 1 件
C	意見を施策案に反映しないもの	2 件
D	その他、施策案に直接関係ないもの等	0 件

意見の概要

別紙のとおり

4 結果の公表

- (1) 公表場所：企画課、行政センター、公民館、コミュニティセンター、中央図書館、市のホームページ
- (2) 公表期間：令和 3 年 9 月上旬から 3 か月間

別紙 意見の概要

	該当項目	意見の概要	対応区分	市の考え方
1	第1 行動姿勢	むすびよりは、結びが妥当な言葉と思う。 北海道では、皆が助け合い、お金ではなく、労働で恩返しすると聞いた。また結びは、結びつくや結束という意味でもいい言葉と思う。	B	行動姿勢は、動詞の「むすぶ」とし、副題としてむすぶを説明するものとして「多様な むすび により君津の未来を創る」としております。 この「むすぶ」は、総合計画の策定にあたり令和2年度から実施してまいりました市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者・千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティングの中でキーワードとして挙がってきた言葉をもとにしたものであり、御意見と近い考えと認識しております。
2	第1 行動姿勢	君津市の経緯（合併前の町村の記載順序は？）次世代へつなぐため「むすび」、「君津の未来の創造」などの理念や、なぜ基本構想で定めるかわからないので、庁内の策定組織や議会、市民の意見を聞き、皆に理解され、共感されるようにした方がよいと思う。	A	行動姿勢は、本市に関わる全ての方の行動の拠り所とするものとして、令和2年度からの市民参画の取組や市議会との意見交換、庁内における協議を経て様々な御意見を伺い、検討してまいりました。 引き続き皆様に理解され、共感されるよう計画づくりを進めてまいります。 また、御意見のとおり合併前の町村の記載順序について、第1行動姿勢の説明文を次のとおり修正します。 (旧) 昭和45（1970）年に、旧君津町、上総町、小糸町、清和村、小櫃村が合併したあと、昭和46（1971）年の市制施行で県内25番目の市となる君津市が誕生しました。 (新) 昭和45（1970）年に、 <u>君津町、小糸町、清和村、小櫃村及び上総町が合併し、その翌年の昭和46（1971）年には市制を施行して、県内25番目の市となる君津市が誕生しました。</u>
3	第1 行動姿勢	メインテーマに「むすぶ」を挙げているが、将来の君津市の姿が浮かんで来ない。前の君津総合計画では、「人が集い、活力あふれる健康都市きみつ」であったが、このような言葉の方が、実際の実行計画推進時に行動し易いと思う。	A	御意見のとおり、「むすぶ」は動詞の一つであるため、「行動姿勢」として設定しております。メインテーマは、将来ビジョンで「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を掲げておりますが、行動姿勢の「むすぶ」が最初に位置することでメインテーマであると誤解されることから、次のとおり掲載順序を修正します。 (旧) 第1 行動姿勢 むすぶ～多様な「むすび」により君津の未来を創る～ 第2 将来ビジョン ひとが輝き幸せつなぐきみつ (新) <u>第1 将来ビジョン ひとが輝き幸せつなぐきみつ</u> <u>第2 行動姿勢 むすぶ～多様な「むすび」により君津の未来を創る～</u>
4	第2 将来ビジョン	行動姿勢が理解され、都市づくりの基本理念として共感できれば「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」とすることも良いと思う。	B	御意見のとおり、行動姿勢が理解され、将来都市像が共感されるよう対話を重ねた総合計画の策定に取り組んでまいります。
5	第2 将来ビジョン	人口フレーム⇒令和12（2030）年の人口を77,000人とすることに異議がある。題名を「計画の指標」とし、その理由を記述したかどうか。 人口フレームは、過去の人口推移をもとに一定の算式を用いるばかりでなく、「どのような都市を目指すのか」「そのため今後の施策をどうするか」という観点で計画した方がよいと思う。 人口減少を止め、引き続き人口増加対策を進めるための施策を講じ、現計画で定めている	C	総合計画の指標にあつては、基本計画で指標を設定してまいります。 令和2年10月1日の本市の人口は82,249人（国勢調査）であり、現行の総合計画における将来人口90,000人と乖離している状況です。 また、国立社会保障・人口問題研究所の資料に基づく人口推計では、令和12（2030）年には73,303人にまで減少すると推計されています。 この状況を踏まえ、第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の「人口ビジョン」において、転出超

		90,000人を維持することとした方がよいと思う。		過をゼロとし、合計特殊出生率を1.8に引き上げることによる2030年の将来展望人口を77,000人としており、基本構想でも同一の設定をしております。
6	第2 将来ビジョン	つながりの連鎖のイメージで、交流人口と定住人口を図示しているが、基本構想の人口フレームとの関係を分かりやすく、簡潔に記述した方がよいと思う。	B	つながりの連鎖のイメージでは、交流人口と定住人口に関係人口を加えて、図示しています。このうち関係人口にあっては新しい言葉のため、注釈とイラストを追加して記述しております。 御意見を踏まえ、わかりやすく簡潔な記述に努めてまいります。
7	第2 将来ビジョン	自治体も経済力と人口が結びつかないと活力ある住みよい街とはならない。人口の減少は基本の条件を欠くことになると思う。 君津市は地方の市町村と違い首都圏に近い利点があり、施策次第で人口の維持、増加が可能と思われる。基本的な施策として、以下を検討できないか。 Ⅰ、老年人口が増加し人口減少が進む必然性が在る状態の中では、現在の青少年の市外流出を極力少なくする施策 Ⅱ、市外からの移住者の増加施策 Ⅲ、国外者受け入れ施策	B	御意見のとおり、人口は市民の日常生活に必要な生活関連サービスを維持するうえで重要なものと認識しております。 将来ビジョンでは、「転出抑制・転入促進を図る」旨の記載としております。 基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。
8	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿	どのような基本方針のもとに主要施策を考え、実施して将来のあるべき姿を創造するか、という観点を記述したらどうか。 そのためには、第2の将来ビジョンに「3基本的課題」を加え、これまでの基本構想で定め実現しなかったこと、社会経済等の変化により新たな課題等を加えて記述するとよいと思う。	B	将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿においては5つの分野ごとに令和12(2030)年を展望した[将来の姿]を示しております。 この将来の姿を実現するために、各種施策を基本計画で示してまいります。 また、君津市総合計画を冊子にする際は御提案いただいた社会経済等の変化による課題等を加え、編集してまいります。
9	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿	令和12年度の君津市民の一人ひとりがどのような生活や暮らしを送っているのかを、かなり明確に描く必要があるのではないかと。 [令和12年度の君津市の生活や暮らし]ー[現状の君津市の生活や暮らし]＝今後取り組む実行計画 このギャップを明確に描き出せないと、身になる実行計画は作れないと思う。 各項目ごとの将来像はあるが、現実感が乏しく今後作成するのか。	B	この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。 御指摘いただいたギャップを意識し、バックキャストした視点を取り入れながら、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。
10	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その1 経済と環境が調和したまち	施策に賛同すると共に、「地域・環境と共生した再生可能エネルギーや資源の地産地消も進められています。」へ記述変更を提案する。 また、再生可能エネルギーの活用を進めるにあたっては「エネルギーの効率的な利用」についても検討されたい。	A	御意見を踏まえ[将来の姿]を次のとおり修正します。 (旧) また、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを市民、企業、行政が協力して行い、再生可能エネルギーの活用等も進められています。 (新) また、脱炭素社会の実現に向けた様々な取り組みを市民、企業、行政が協力して行い、 <u>地域の経済と環境が調和した再生可能エネルギー等の地産地消も進められています。</u>
11	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その1 経済と環境が調和したまち	自然との共生が抜けている。	A	御意見を反映して[将来の姿]を次のとおり修正します。 (旧) さらに、水や自然を守り、これらを観光やまちづくりにも結びつけることで、君津を訪れ君津を好きになる人や応援してくれる人が増えています。 (新) さらに、水や自然と共生し、観光やまちづくりにも

				結びつけることで、君津を訪れ君津を好きになる人や応援してくれる人が増えています。
1 2	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その2 誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち	かずきマジックがあることや陸上において市内の中学生が全国大会で新記録を出していることなどからスポーツの町を加えるといいと思う。	A	御意見を踏まえ [将来の姿] を次のとおり修正します。 (旧) 身近な場所で運動できる機会が充実しているため、君津の人たちは健康で、笑顔にあふれています。 (新) 身近な場所で運動できる機会が充実しスポーツも盛んなため、君津の人たちは健康で、笑顔にあふれています。
1 3	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その2 誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち	お年寄りと子供たちのふれあいが必要だと思う。	B	[将来の姿] では、「高齢者を含め多くの人たちが、地域の様々な活動に参加」と示しており、御意見の趣旨を含めております。
1 4	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その3 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち	松本ピアノの発祥であるため、芸術のまちを加えるといいと思う。	B	[将来の姿] では「多彩な文化芸術に触れる機会があり、自発的に文化活動を行い、人生の楽しみや喜びを感じ」と記載しており、御意見の趣旨を含めております。
1 5	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その3 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち	子どもの安全に関わることから学校の施設を適切に補修してほしい。 教員の事務的な業務を改善し、子どもと向き合う時間を確保してほしい。 いじめの問題対応などで警察に協力するなども検討されたい。 教員が誇りと使命感を持って子どもと向き合えるよう、市や教育委員会の体制を整えてほしい。	B	御意見のとおり、次の世代を築く子どもの教育環境を充実させることは重要であり、将来ビジョンを実現するための柱に「安心して子育て・子育てでき・学びを楽しめるまち」を掲げております。 施設面と管理運営面での具体的な施策は基本計画や教育振興基本計画を策定する中で、御意見を参考とさせていただきますながら、検討してまいります。
1 6	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その3 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち	「知の拠点」とするはずの図書館が、教育ではなく、文化芸術に触れる場とすることは、とても残念である。	A	御意見を反映して [将来の姿] にあった「図書館」の記述の位置を移動させ、次のとおり修正します。 (旧) 子どもから高齢者まで、好きな時に、好きな場所で、自由に学べる環境が整っているため、一人ひとりが地域の中で自己を高め、磨き、生きがいを持って他者と結びつき、充実した人生を送っています。 (新) 子どもから高齢者まで、好きな時に、好きな場所で、自由に学べる環境が整っており、 <u>知の拠点である図書館等も利用して</u> 、一人ひとりが地域の中で自己を高め、磨き、生きがいを持って他者と結びつき、充実した人生を送っています。
1 7	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その4 快適で安心して暮らせるまち	台風、地震などの天災に強いまちづくり	B	将来ビジョンを実現するための柱「快適で安心して暮らせるまち」に記載のとおり、災害の被害を減らすための取組を、御意見のとおり進めてまいります。
1 8	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その4 快適で安心	自転車は持続可能な社会構築、近距離の交通手段として欠かせないものであり、市民の安全を確保する観点からも計画的に自転車専用道の整備も必要だと思う。	A	御意見を踏まえ [将来の姿] を次のとおり修正します。 (旧) また、バリアフリーも進み、公共交通機関も充実しているため、一段と快適に暮らすことができます。

	して暮らせるまち		(新) また、バリアフリー化が進むなど安全安心な道路環境が整い、公共交通機関も充実しているため、一段と快適に暮らすことができます。
19	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その4 快適で安心して暮らせるまち	木更津市と同じように中心市街地からアクセスのよい場所に、リーズナブルな価格で子育て世代が購入しやすい、大規模な住宅団地の造成が必要と考える。 また、中心市街地にアクセスが容易な住宅団地はいずれも数十年が経過し、世代交代の時期に来ているため、住宅地の空き家をスムーズに子育て世代に移行する誘導策も必要と思われる。 ただし、開発には自然環境、風致との調和も必要と考える。	B 御意見のとおり、新たな住宅地に子育て世代が移り住むと共に、既成の住宅地に対しても子育て世代に住んでいただくことは、転出抑制・転入促進を進めるうえで、大変重要であると認識しております。 快適で安心して暮らせるまちを柱として、「私たちの暮らしを支える都市基盤も強化され、(途中省略)この住みやすく魅力にあふれた君津に移住する人が増え、まちに賑わいが広がっています。」と示させていただいております。 更に、第4 将来デザインの2 市域共通及び地区ごとの方向では、「若い世代も住みたくなる住環境の整備」も示しております。 今後、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体の施策・事業を整理してまいります。
20	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その4 快適で安心して暮らせるまち	施策に賛同すると共に、令和3年3月に策定した君津市国土強靱化地域計画に沿った計画を策定する事を提案する。	B 御意見のとおり、令和元年に発生した台風、大雨では記録的な豪雨及び暴風となり、市内各所で家屋等の損壊、電柱の倒壊等による長期停電、これに伴う断水が発生し、これまで経験したことのない甚大な被害をもたらしました。 その状況を踏まえて作成した君津市国土強靱化地域計画は、君津市総合計画の防災関連の先導的な役割を担うものとしておりますので、同計画に沿った総合計画の策定に取り組んでまいります。
21	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その5 ともに創る次世代につながるまち	上湯江にある千葉医療福祉専門学校では、理学療法士と作業療法士を養成しており、これからの高齢化社会で次世代を担う大切な若者が専門教育を受けている大切な学校であることを市民に周知する必要がある。 そのためには、皆が憧れるような学園づくりをサポートする仕組みが必要であると思う。	A 御意見を反映して「将来の姿」を次のとおり修正します。 (旧) また、他のまち、企業、大学、高校等と連携 (以下略) (新) また、他のまち、企業、大学、 <u>専門学校</u> 、高校等と連携 (以下略)
22	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その5 ともに創る次世代につながるまち	公共施設等総合管理計画をもとに個別施設計画が出されているが、まさに個別の計画となっており、その見直しの際には、基本構想を地区別に考えていくことも必要と思う。 公共施設の見直しが重要といわれているが、個別計画では、機能を継続する施設が多く、その経費の合計が賄えるのか検証も必要と思う。	B 御意見のとおり、公共施設の見直しについては、多様な地区の特色を考慮しながら、見直すことが重要であると認識しております。 [将来の姿]では「将来を見据え、徹底した経営改革を進めてきたため、次世代につながる効果的な財政運営が行われています。」と示すことで、今後の財政の見通しや、施設の老朽度、劣化度等を見極めて、個別施設計画を進めてまいります。
23	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その5 ともに創る次世代につながるまち	市民一人ひとりでは出来ないことを実現するのが「公」＝行政の力だと思う。決まりごと(条例等)は、活動を制約するものではなく、より良いまちづくりのために活動しやすくするためのルールとする方向性を大切にしてほしい。	B 市民のより良いまちづくりのための活動について、[将来の姿]では「君津に対する愛着や誇りを持って地域の活動に取り組んでいる(以下省略)」と示しております。 これらの実現に向けて、御意見のとおり活動しやすくするための環境を整えてまいります。
24	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その5 ともに創る次世代につながるまち	令和3年度の予算は過去最大規模だが、依存財源の割合が増え、財政調整基金も大きく使っている。市職員数も削減されており、これからのまちづくりは市民協働で行うことが重要なので、その点も分かりやすい表記があると良い。	B 御意見のとおり、財政や市職員数の現状からこれからのまちづくりでは、市民協働が重要であると認識しております。 パートナーシップを含む分野の柱として「ともに創る次世代につながるまち」と示しており、引き続きわかりやすい表記に努めてまいります。

25	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿 その5 ともに創る次世代につながるまち	今後、財政状況は極めて厳しくなることが予想される。そのような観点からもメリハリの効いた施策の展開が求められるが、旧5ヶ町村を意識し過ぎる余りに公平感を担保したような施策が並べられている点に、少し問題意識を持たざるをえない。 君津市の均衡発展を否定するものではないが、財源を考えるとかなり厳しくなるので、若い世代への負担は極力低く抑える工夫が必要ではないか。	B 御意見のとおり、歳入においては生産年齢人口の減少などにより、大幅な増収が見込めず、歳出においては、高齢化に伴う扶助費の増加等が見込まれます。 そのため、基本構想の将来ビジョンを実現するための柱「ともに創る次世代につながるまち」の[将来の姿]では、将来を見据え、徹底した経営改革を示しております。
26	第4 将来デザイン	第4 将来デザインについて ① 題名に「施策の大綱（基本的な主要施策）」を加え、課題への対応方針を記述したらどうか。 ② 市域共通の方向は、「土地利用方針」と「将来デザイン（施策の大綱・基本的な主要施策）」に区分し基本的な課題への対応策として、第3将来ビジョンを実現するための柱、分野をもとに、地区ごとの方向と合わせて再編し、題名を「(仮)土地利用方針と地域別の基本的方向」とし、新たにその概要と実現策を記述したらどうか。 ③ 市域共通の方向、地区ごとの方向の前に「2土地利用の基本的方向と地域づくりの方向」を入れたらよいと思う。 そして、ゾーン設定や地域区分は、都市計画区域、農業振興地域、森林計画地域等に区分し、単に将来の姿だけでなく、ゾーン設定や地域区分する理由の説明、施策との連携、都市計画、農業振興計画、その他の計画等との整合を図るように全般的に見直した方がよいと思う。 ④ 地域づくりの方向は、各地区のそれぞれの特質と生活習慣を踏まえて将来のあるべき姿を想像して、官民共同でいきいき、住み、働き、学び、安心し、やすらぐことができる地域づくりをしたらいかかが。	B 御意見を踏まえ、総合計画の策定に活かしてまいります。詳細に御提案いただきました第4将来デザインにつきましては、次のとおり認識しております。 ① 施策については、基本計画の中で示してまいります。 ② 基本構想（素案）では、土地利用等との視点から1コンセプトと2市域共通と地区別の取組を示しております。これらの実現策等については基本計画の中で示してまいります。 ③ 御指摘いただいた土地利用の基本的方向と地域づくりの方向については、将来デザインの中で示しております。都市計画区域、農業振興地域、森林計画地域等と整合した総合計画となるよう、各種の連携に努めてまいります。 ④ 総合計画の策定にあたり、各地区それぞれに実施したタウンミーティングの結果等から地域づくりを進めると共に、総合計画と整合を図る個別計画に御指摘の内容が踏まえられるよう、努めてまいります。
27	第4 将来デザイン	施策に賛同する。コンパクトでスマートなまちづくりを検討するにあたっては、立地適正化計画の手引きに沿った将来デザインとする事を提案する。	B 御意見のとおり、多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりをコンセプトに取り組んでまいります。 その中でも、第4将来デザインの地区ごとの方向では「君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実」を示すことで、立地適正化計画制度を取り入れてまいります。
28	第4 将来デザイン	近隣の上総地区との連携や都内との交流、県外からの旅行者の増加も加えてはいかかが。	B 将来デザインに、小櫃川流域と小糸川流域の市内地域間のむすび、アクアラインを通じた君津と都心とのむすびに加え、幹線道路の整備等が本市にもたらす人やモノの流れを確実に取り込み、かずさ地域はもとより南房総の玄関口として、周辺自治体との広域連携を含んだ活力あるまちを創出と示すことで、御意見と同じ考え方を含めて表現させて頂いております。
29	第4 将来デザイン	市域が広い君津市では、交通網が要となる。地域ごとの特色を活かす方向性は良いと思うが、山間地域では高齢化が進んでいる。 より魅力的な地域を作るためにも、他地域との交流（移動し活動し君津の良さを満喫できる）も必要だと思う。	B 将来デザインのコンセプトに掲げた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出するため、交通網の充実に努めてまいります。
30	第4 将来デザイン	施策に賛同する。さらに良い施策とするために、「風水害の被害を最小限にとどめる」・「災害時における早期復旧」2点を追記する事を提案する。	B 御提案いただきました防災や国土強靱化の視点につきましては、[将来の姿]で、「地域の様々な場所で防災力を高める活動や災害の被害を減らすための取り組みが進められています。」との記述があり、御意見の趣旨を含めております。

3 1	第 4 将来デザイン	<p>地域の人とモノを優先させることが地域経済循環を生み出す</p> <p>全国的な流通ネットワークのもとでリーズナブルな価格で商品を提供しているスーパー等と、JAなどが展開しており、地元の品物が中心に販売されている直売所があり、いずれも必要であるが、地産地消の比重を高めることが重要であると思う。</p>	<p>A</p> <p>本市では、市内全小中学校の学校給食の献立に地元の米や野菜、卵などを取り入れるなど、地産地消に努めております。</p> <p>また、地域の農業者団体と連携して米作り体験や地域の在来の大豆「小糸在来[®]」の枝豆収穫体験、トウモロコシ狩りなどの消費者との交流イベントを実施し、地域の農業・農産物に触れる機会を提供しております。</p> <p>御意見のとおり、市内のJAなどが開設している農産物直売所の他に、君津市内のスーパーなどの量販店でも地元製品のコーナーを設けるなど、地産地消に取り組んでいただいております、地域経済循環の観点からも重要であることから、将来デザインの「市域共通の方向」に次のとおり追加します。</p> <p>(追加)</p> <p><u>○地産地消と食育等の推進による地域農業・農産物への理解促進</u></p>
3 2	第 4 将来デザイン	<p>君津インターチェンジ・君津PAスマートインターチェンジ、木更津東インターチェンジ、法木山周辺等の周辺開発は困難なため、多機能の集積、賑わいの創出等の表現は見直した方がよいと思う。</p>	<p>C</p> <p>君津インターチェンジ周辺等の開発は、農振農用地や市街化調整区域等の規制が課題にありますが、総合計画に合わせて都市計画マスタープラン等を見直し、様々な角度から取り組んでまいります。</p>
3 3	第 4 将来デザイン	<p>君津インターチェンジ周辺のまちづくり事業については、表現が現計画より、前進しており評価できる内容となっているが、早期に事業を実現していただきたい。</p> <p>基本計画・実施計画についても、早期に事業推進をするような内容となるように、計画策定を進めてほしい。</p>	<p>B</p> <p>御意見のとおり、現総合計画では「君津インターチェンジ周辺地区は、農業振興との調和を図りながら、交通の利便性を活かした有効な土地利用に取り組みます。」と表現していましたが、新しい総合計画では「君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり」と表現しております。</p> <p>基本計画・実施計画につきましても、早期に実現できるよう策定を進めてまいります。</p>
3 4	第 4 将来デザイン	<p>亀山・坂畑、松丘、久留里、小櫃、清和、小糸地区の活性化</p> <p>これらの地区は、人口減少で小中学校の廃校が続いているが、自然豊かで、長い歴史と文化育んだ地区であるため、消滅させてはならないと思う。</p> <p>そのため、廃校の活用を推進することが必要であり、特に、首都圏に近く、人材と遊休地が多くあるこれらの地区においては、サプライチェーンの国内復帰の候補地として積極的に誘致を進める必要があると考える。</p>	<p>B</p> <p>御意見のとおり、役割を終えた学校施設等、空き公共施設等の利活用は地域の活性化に重要であることから、将来デザインに「市有地や空き公共施設の積極的な利活用」を掲げております。</p> <p>現在、旧三島小学校、旧坂畑小学校及び旧亀山中学校等で、周辺地域の活性化や新たな人の流れの創出につながるような取組を行っていただける事業者を募集しているところであり、今後も空き公共施設の利活用について、民間事業者等と連携しながら取り組んでまいります。</p>
3 5	第 4 将来デザイン	<p>上総、小櫃、清和、小糸地区は自然環境を活かした交流人口の増を狙った施策の展開が望まれる。</p> <p>また、廃校跡地の有効活用として自然エネルギーの再活用を検討し、市役所が管理する資産のミニマム化を図り、契約内容によっては歳入増を狙うことも検討されたい。</p> <p>学校グラウンド等を再エネの代替え施設として推進する他、農業シェアリングについても、JA等と協働し、再エネの供給力アップによる自給体制が可能になるようにしてほしい。</p>	<p>B</p> <p>第4将来デザインの「小櫃・上総地区では、「久留里の歴史・文化・自然・名水のブランディングとグリーンツーリズムの推進」、小糸・清和地区では「鹿野山及び清和県民の森周辺の観光地としての魅力向上」を掲げるなど、地区ごとの方向を示しております。</p> <p>また、市内共通の方向として、「市有地や空き公共施設の積極的な利活用」を掲げるなど、御意見いただいている内容を含めております。</p> <p>加えて、エネルギーについては、将来ビジョンを実現するための柱に、脱炭素社会の実現に向けた取組や、再生可能エネルギーの利活用を掲げております。</p>
3 6	総合計画全体に関すること	<p>今の君津市の現状を説明された方が良く感じた。</p> <p>正しい歴史認識と地理的な魅力を整理された方が良く思う。例えば、県内で2番目に広い市(市原に次いで)、市樹がキャラボク、市花がミツバツツジ。豊かな自然に恵まれた、歴史名水の里が魅力だと思う。</p>	<p>B</p> <p>この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。</p> <p>頂いた御意見を踏まえ、君津市総合計画を冊子にする際は、御提案いただいた現状の説明を踏まえ、編集してまいります。</p>

37	総合計画全体に関する こと	資料1に基本構想の策定の趣旨が記され、前期10年の取り組み内容や現状の課題等について述べられているが、現状の分析を軽視し過ぎる傾向が見られる。 総合計画は市民対話等を行いながら、時間をかけて問題点の共有化を図ったと思うので、これを明確に捉えた上で、提起する必要があるのではないか。	B	この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。 頂いた御意見を踏まえ、君津市総合計画を冊子にする際は、御提案いただいた現状の分析を踏まえ、編集してまいります。
38	総合計画全体に関する こと	総合計画においては市民対話を重要な位置づけとして記しているため、その意味でも市民から出された主たる意見は数点挙げて頂けると総合計画により味付けがなされ納得感もより深まるのではないかと。	B	この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。 頂いた御意見を踏まえ、君津市総合計画を冊子にする際は、御提案いただいた市民の御意見を数点挙げるよう編集してまいります。
39	総合計画全体に関する こと	策定の趣旨について、お年寄りが抜けている。諸先輩方を大切に作る街づくりが大切と思う。	B	第3将来ビジョンを実現するための柱では、お年寄りを含め、誰もがいきいきと生活できる地域共生のまちを示しております。 御指摘いただいた諸先輩方を大切に作るまちづくりを踏まえ、総合計画を策定してまいります。
40	総合計画全体に関する こと	本格的な少子高齢化社会の到来やコロナ渦等の影響で、今後の社会経済は更に変化し、国及び地方自治体は大改革が必要になると思う。 このため、君津市の将来構想も単に夢ばかりではなく、これまで以上に行政全般の経営改革も視野に入れ、地方自治の本旨と市民憲章を踏まえ、再度、総合計画のうち基本構想(素案)を見直す必要があると思う。	B	御意見のとおり、財政運営をはじめとする改革については、将来ビジョンを実現するための柱として「ともに創る次世代につながるまち」を示し、[将来の姿]では「将来を見据え、徹底した経営改革を進め」と記載のあり、次世代につながる効果的な財政運営を行ってまいります。 御意見のとおり、地方自治の本旨と市民憲章を踏まえ、総合計画を作成してまいります。
41	総合計画全体に関する こと	策定の趣旨は、総合計画と基本構想に区分して記述し、総合計画策定の趣旨には現基本構想と実施施策、市民意識、社会経済状況の変化、新たな課題等を簡潔に記述するよう見直した方がよい。	B	策定の趣旨は、君津市総合計画の冊子の編集の際に、御意見を踏まえ整理してまいります。 なお、御意見のとおり、これまで実施してきた施策、社会経済状況の変化、更には、総合計画の策定にあたり令和2年度から実施してまいりました市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者・千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティングの結果等を踏まえ整理してまいります。
42	総合計画全体に関する こと	総合計画の構成は、基本構想、基本計画、実施計画としたことはよいが、その記述の仕方を見直した方がよい。	B	御意見いただいた総合計画の記述の仕方については、市民の方々に伝わりやすい記述の仕方を検討し実践してまいります。
43	総合計画全体に関する こと	基本構想の対象期間は、「目標年次、期間は概ね10年間」とし、前期分を5年間とし、後期は前期の途中で再度見直して基本構想の目標年次とする方がよいと思う。 また、構成(項目の重点プロジェクト、分野ごとの施策、指標、目標値等)については、素案の作成までに再度検討して記述した方がよいと思う。	B	基本構想の目標年次は令和12(2030)年度とし、基本構想の実現に向けて基本計画を前期(5年間)と後期(4年間)に分けてまちづくりを進めてまいります。 なお、後期基本計画は前期計画の進捗を踏まえ、策定してまいります。 また、基本計画の構成については、分野ごとの施策や指標等を記述し、基本構想を実現するための計画として策定を進めてまいります。
44	総合計画全体に関する こと	実施計画は、期間を3年間程度とし、事業の実施時期、内容、金額等の計画内容を入れ、予算執行や行政評価を反映して毎年度見直すこととした方が、社会経済情勢等の変化に対応し、計画的な行政財政運営をするのでよいと思う。	B	実施計画は、行政評価を反映し、社会経済情勢の変化に対応できる柔軟性と予算編成と連動させて実効性をもたせるため、期間を1年間として、毎年度見直すよう検討しつつ、御意見のとおり計画的な行政財政運営を進めてまいります。
45	総合計画全体に関する こと	基本構想の文章は、文語体で、法令や公用文の作成方法により記述し、簡潔明瞭に、誰にでも分かりやすく、ということから、各分野の構成を標準的な用語を用いるとともに、新語やカタカナ語を使ってもよいが、注釈を入れ、簡潔でもよいが	B	御意見のとおり、一人でも多くの方に理解していただくことが重要と考え、誰にでも分かりやすい記述に努めてまいります。

		丁寧に記述する。		
46	総合計画全体に関する こと	<p>基本構想策定の趣旨は、策定の法的根拠、目的、性格等と、本市の経緯及び課題、総合計画の良否を評価した結果と課題等や次のようなことを加え、新たに記述したらよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本構想の位置づけ、君津市の基本構想の策定経緯、社会経済等の変遷など ○この度の総合計画の策定は、現基本構想（まちづくり構想）の目標年次の到来だけを強調するばかりでなく、社会経済全般の変化に対応した君津市の創造など 	B	<p>策定の趣旨は、御意見を踏まえ、これまで実施してきた施策、社会経済状況の変化、更には総合計画の策定にあたり令和2年度から実施してまいりました市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者・千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティングの結果等を踏まえ整理してまいります。</p>
47	総合計画全体に関する こと	<p>趣旨の次に、現計画の課題のうち「継承する課題に新たな課題」を加え、「まち（都市）づくりの課題」として次のことを入れ、記述した方がよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本格的な人口減少・高齢社会への対応 ○防災対策を強化し、安全・安心な都市と生活環境づくり ○道路交通、産業、生活基盤等の整備、都市の活力高揚 ○公共施設等の維持管理、新型コロナ渦、デジタル化等 新たな課題への対応 	B	<p>この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。</p> <p>頂いた御意見を踏まえ、君津市総合計画を冊子にする際は、策定の趣旨及び趣旨の次に続く記述にあつては、項目や順番に注意して一人でも多くの方々に伝わるよう、編集してまいります。</p>
48	総合計画全体に関する こと	<p>第5として「構想（計画）実現の方策」を加え、市民との協働、選択と集中、行政評価と改革等の項目とその施策の基本的な方針を記述した方がよい。</p>	B	<p>市民との協働、選択と集中等については、君津市総合計画でも重要なキーワードと認識しております。</p> <p>基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において頂いた御意見を踏まえ記述してまいります。</p>
49	総合計画全体に関する こと	<p>人口維持、増加に向けた具体的な施策として、大学生の通学費補助（現在若干あるようだが、恩に感ずる位）、遠距離通勤者の費用補助（会社・団体での費用負担の無い方）、都市部の安心・安全で交通の便が良い街づくり、外国人の受け入れ施設と生活、就職斡旋、都市部以外は極力開発を抑え自然を大切に保存し、誰もが行政・生活から取り残されないよう、ネット・交通環境を整備すること、農業者への支援、自然立地を利用した老人施設の誘致、首都圏での移住者募集を検討できないか。</p>	B	<p>この度の基本構想は、君津市総合計画の構成が3層あるうちの1層目のものとなっております。</p> <p>頂いた御意見を踏まえ、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。</p>
50	総合計画全体に関する こと	<p>今までの「君津市総合計画」の達成度の評価、市民満足度の評価、そして、達成が不十分だった項目の原因及びその内容、それを基に今後活かすべき項目、内容の設定などどのように行っているのか。</p> <p>また、毎回の計画の中身は、表現方法は違っても、内容はそれほど変わらないように思える。しっかりしたエビデンスに基づく活動が必要だと思う。</p>	B	<p>御意見のとおり、これまでの君津市総合計画の効果検証等を踏まえながら、新たな君津市総合計画を策定しております。</p> <p>これまでの君津市総合計画の達成度の評価については、施策・事務事業評価を毎年度実施し、指標の達成度等の評価を行っております。</p> <p>また、市民満足度については、総合計画の策定にあたり令和2年度から実施してまいりました市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティングの結果等から把握しました。</p> <p>こうした取組の結果や統計データ等のエビデンスに基づきながら、引き続き新たな君津市総合計画の策定に努めてまいります。</p>
51	総合計画全体に関する こと	<p>国連の開発目標（SDGs）の積極的な取組が必要に思う。</p> <p>持続可能な開発目標のために17分野に対し定められており、2030年までに達成するように</p>	B	<p>持続可能な開発目標（SDGs）と本市の目指している方向は、同じであるとの認識のもと引き続き総合計画の策定に取り組んでまいります。</p> <p>御指摘いただきました「一人も残さない・・・」「多様</p>

		<p>なっている。</p> <p>「一人も残さない・・・」「持続可能な・・・」「多様性のある・・・」など日常的に使われており、本計画にも織り込む必要があるように思う。</p>		<p>性のある・・・」「持続可能な・・・」の3点につきましては、第2 将来ビジョンでは「誰一人取り残さないために」と示しており、第3 将来ビジョンを実現する柱と将来将来の姿では「ともに創る次世代につながるまち」と示して次世代につながる効果的な財政運営を現わし、第4 将来デザインでは「〇多様性に配慮したユニバーサルデザイン・バリアフリーの促進」、「〇多様なライフスタイルを支援する空き家を利用した移住やニ地域居住の推進」を示して、基本構想に織り込んでおります。</p>
5 2	総合計画全体に関すること	<p>総合計画のコンセプトにSDG s 思想を活かした持続可能な街づくりの文言をどこかに挿入されては如何か。</p>	B	<p>持続可能な開発目標（SDG s）と本市の総合計画の目指している方向は、同じであると認識のもと引き続き総合計画の策定に取り組んでまいります。</p>
5 3	総合計画全体に関すること	<p>I C T（Information and Communication Technology）をさらに活用した「まちづくり」が必要であると思う。</p> <p>例えば、君津スマートシティ構想など夢のあるまちづくりを明確に打ち出してはどうか。</p>	B	<p>御意見のとおり、情報技術が進展する中で、本市においても、I C T をより一層活用したまちづくりに取り組む必要があると認識しております。</p> <p>そのため、第4 将来デザインのコンセプトでは、「多様な魅力にあふれた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出」と記載しております。</p> <p>なお、I C T の活用に向けた具体的な施策は基本計画や君津市DX推進計画を策定する中で検討し、取り組んでまいります。</p>
5 4	総合計画全体に関すること	<p>キーワードはコンパクト（職住遊近接）、ローカルファースト（地域振興）である。人口増の傾向にある木更津市は、請西等の住宅団地の整備が大きいと思われる。</p> <p>さらに、若いママが、遊具で遊ばせながら、ママ友とカフェ、買い物を楽しむ、「ミナノバ」に集まり易いとも聞いた。これらのことも、参考になるのではないか。</p>	B	<p>御意見のとおり、コンパクト（職住遊近接）、ローカルファースト（地域振興）は大変重要なキーワードであると認識しております。</p> <p>頂いた御意見を踏まえ、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。</p>
5 5	総合計画全体に関すること	<p>ポリテクセンターはポリテクカレッジ千葉とも連携しており、デジタル技術普及人材育成の素地は十分にある。ここは国の事業だが、これを活用して市民各層のデジタル技術向上に役立てるよう働きかけたら如何か。</p>	B	<p>本市では、君津市DX推進方針を策定しており、策定の視点として、誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化や地域全体のデジタル化の推進を掲げております。</p> <p>市民のデジタル技術向上等に向けた具体的な取組については、基本構想のもとに策定する基本計画や、実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。</p>
5 6	総合計画全体に関すること	<p>総合計画は現状の分析と国・県の将来展望等を加味しつつ策定に臨んでいると思うので、今後の施策については、個々の問題・課題等と対比しつつ、各施策を列挙すると施策の意味が明確になり、市民にはよく理解できるのではないか。</p>	B	<p>頂いた御意見を踏まえ、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理し、市民に御理解いただけるよう努めてまいります。</p>
5 7	総合計画全体に関すること	<p>総合計画の目玉施策として、各地区には拠点化した複合施設を配置し、地域コミュニティーの輪を高め、市民生活の向上を図っていく事を明確に示せば良いと思う。</p>	B	<p>各地区の拠点施設については、将来デザインのコンセプトに「多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図り」と掲げており、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。</p>
5 8	総合計画全体に関すること	<p>老朽化した橋脚も重要なインフラ施設として早期の復旧が求められるが、橋梁数からして計画的に実施する必要があるので、基本計画に記す事により、市民に自助、共助、公助の意識を植え付けていくことも重要な点ではないか。</p>	B	<p>御指摘いただいた橋梁については、既に策定済みの橋梁長寿命化修繕計画と基本計画との整合を図り、適切な維持補修に計画的に努めてまいります。</p>
5 9	総合計画全体に関すること	<p>DXの推進により市役所業務の在り方や市民サービスの未来像等々を示唆する内容を市民に前広に示す必要がある。</p> <p>また、市役所の職員の配置についても具体的な方針を打ち出すべきである。例えば、本庁舎の職員はDXによる効率化で職員を減らし、減員した</p>	B	<p>御意見のとおり、人口減少等の社会情勢の変化に伴い自治体運営について、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や事務の効率化の必要性を認識しております。本市では君津市DX推進方針を策定しており、重点項目に「【方針1】市民サービスをより便利に！」、「【方針2】行政経営をより効率的に！」を掲げております。</p>

		職員で高齢者等が本庁に外向く事無く、各地区ですべてが解決できるサービス体制の効率化を図ると、DX推進の効果が目に見える形で市民に理解が深まるのではないかと。		具体的な取組は基本計画や君津市DX推進計画を策定する中で検討してまいります。
60	総合計画全体に関すること	目指したい点は示さないといけないと思うが、将来の姿として夢のようなことが書かれてあり、実現するための基本計画や実施計画が出来るのかとても心配である。	B	頂いた御懸念を踏まえ、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。
61	総合計画全体に関すること	山間地区の自然は広いが、整備されたところは少なく気軽に楽しめる場がない。市街地や他市の若者の声も聞き、力を借りながら自然に親しめる場を作るしくみも必要だと思う。	B	本市の豊かな自然環境は、市民アンケートでも多くの方が強みとして回答しております。 将来デザインで掲げる「人と自然がふれあう里山の保全・整備・利用の促進」の実現に向け、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。
62	総合計画全体に関すること	中央公園に市民各層が集う、イベントやマルシェの機能を持たせられないか。 具体的には、再構築した広場に、家庭菜園で収穫した野菜や各家庭で使わなくなった品々等の販売をするマルシェ、市民がリラックスして会話を楽しめるカフェ等の設営、これらは地域の人とモノを優先させ、地域経済循環を生み出すという、コンパクトシティのコンセプトの一環にもなると思う。	B	現在の中央公園に新たな機能を拡充し、規模を大きくすることは難しいですが、御意見のとおり、イベントやマルシェ等の機能を持たせることは好ましい将来の姿であると考えます。 今後も魅力ある公園づくりに努めてまいります。
63	総合計画全体に関すること	「水道山」に遊山道を整備し、全山に桜や花桃など花の山を築き、山の上の配水場付近を公園風に整備すれば、君津の魅力を大きく刷新すること、請け合いなしと思う。	B	水道山については、御提案頂いた意見を踏まえつつ、市街化区域の中にある貴重な緑地であるため、今後も保全に努めてまいります。
64	総合計画全体に関すること	公園の生垣が見通しを悪くし、付き添い無しで子供達を遊ばせる気にならない。是非とも、見通しの良い公園の再整備をお願いしたい。	B	御指摘のとおり、近年整備した公園は、見通しに配慮した設計がなされています。一方で、過去に整備した多くの公園では植栽を飛び出し防止柵の代わりとして整備しております。 そのため、見通しの悪い場所につきましては、剪定を実施するなど適正な維持管理に努めてまいります。
65	総合計画全体に関すること	上総の歴史読本なども変遷されると、学生が誇りを持つと思う。	B	頂いた御意見を踏まえ、基本構想のもとに策定する基本計画や実施計画において具体的な施策・事業を整理してまいります。
66	総合計画全体に関すること	今日の様に、情報が高度に発達している社会では、個々の施策は市民の中の識者、専門家、また各地域の自治会等に諮問して、実施していくのが良いのではないかと。	B	国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）における17番目の目標「パートナーシップで目標を達成しよう」にもあるように、多様な主体との連携の重要性は世界的にも増しており、本市においても、識者、専門家、住民代表などから構成される審議会に諮りながら各種計画等を策定しております。 引き続き、市民、事業者、市議会等と確かな信頼関係、協力関係を結びながらまちづくりを推進してまいります。
67	総合計画全体に関すること	アンケートや懇談会等、多くの市民の声を聞く機会を作ってくださったことは嬉しいが、その結果が公表されていないものが多く残念である。 今回関わった市民の方々からは意見を提出されているのか。多くないなら、その課題を考えることも必要だと思う。	B	総合計画の策定にあたり令和2年度から実施してまいりました市民アンケート、高校生アンケート、対岸在住者・千葉県北西部在住者Webアンケート、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティングの結果等を踏まえ、多くの市民の御意見を伺ってまいりました。 これらに御出席いただいた方からも再度、このまちづくり意見公募で御意見の提出を頂いております。
68	総合計画全体に関すること	アンケートのような一方通行な声のほかに、ワークショップなど話し合うことでまちづくりについての考えが醸成する方法がさらに必要と考える。 市民も意見を出すことに不慣れなため、回数を	B	御意見のとおり、団体ヒアリング、きみつ市民会議、きみつ未来ワークショップ、タウンミーティング等、様々な手法を用いて「対話」する機会を設けております。 今後も君津の未来をみんなで考え、思いを共有するな

		増やすことで建設的な意見が出るようになると思う。		ど、建設的な意見を頂きながらまちづくりに取り組めるよう努めてまいります。
69	総合計画全体に関すること	公共施設を減らすことが重要ではなく、いかに役立つ施設にしていくかが重要だと思う。 施設毎の当初の目的とは別に、今後どのように活かすか、地区別に利活用を考えて欲しい。	B	将来デザインのコネクトで掲げたとおり、多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図るよう、取り組んでまいります。
70	総合計画全体に関すること	公園では禁止事項が多く、出来ないことが多すぎると思う。 市民も市職員も、「禁止」で逃げることなく、どうしたら出来るようになるのか話し合う方向性を大切にしたい。	B	御指摘を踏まえ、地域の声を反映した安全で利用しやすい公園づくりに努めてまいります。
71	総合計画全体に関すること	市民と共にまちづくりをするには、市の情報公開と市民の学習が欠かせない。 必要ならば、条例を変更することも厭わず、魅力ある君津市にするために、基本計画や実施計画を作っていただきたい。	B	御意見のとおり、魅力ある君津市にするよう、計画の策定に努めてまいります。
72	総合計画全体に関すること	房総往還は江戸時代に整備された街道で、現在も釜神橋から三舟山までの道沿いに、いろいろな記念碑等が残っている。 これら、房総往還の足跡を残した散策道を整備すれば、市民が先人に思いを馳せながら散策することで、市民の健康維持、郷土愛にもつながると思う。	B	御意見のとおり、歴史的資源を活用したまちづくりは郷土愛の形成等にも有効であることから、房総往還は君津周辺の歴史を残す道として、君津市の次世代に伝えたい20世紀遺産に指定しております。 引き続き、本市の歴史的資源を活用したまちづくりに努めてまいります。

基本構想

第1 将来ビジョン

1 将来都市像

ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ

多くの「ひと」が自分らしくいきいきと暮らし、「輝く」ことが、まちづくりの原動力になります。

そして、「ひと」の「輝き」が広がっていくことで、まち、しごとの「輝き」につながります。

この「輝き」の連鎖が、一人ひとりの「幸せ」を「つなぐ」ことになり、新たな時代のまちを築きます。

時代が目まぐるしく変化するなかにあっても、一人ひとりが主役となり、誰一人取り残さないために私たちは「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を目指します。

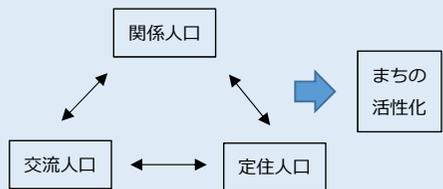
2 人口フレーム

全国的に人口が減少傾向にあるなか、国の資料に基づく人口推計によると、本市の人口は令和12（2030）年には、73,303人にまで減少すると推計されています。

人口が減少すると、生活関連サービス業の減少、空き家や耕作放棄地の増加等を招くほか、税収減により行政サービスの維持が困難となります。

本市は、持続可能なまちづくりのために、転出抑制・転入促進を図るとともに、関係人口を拡大し、つながりの連鎖による更なるまちの活性化を図ることにより、令和12（2030）年の人口フレームを77,000人と設定します。

●つながりの連鎖のイメージ



第2 行動姿勢

むすぶ

～多様な“むすび”により

君津の未来を創る～

昭和45（1970）年に、君津町、小糸町清和村、小櫃村及び上総町が合併したあと、その翌年の昭和46（1971）年めには市制を施行して、県内25番目の市となる君津市が誕生しました。

その後、昭和、平成、そして令和といくつもの時代を歩み、この50年、君津市は発展してきました。

この君津を次の世代へつなぐため、「共感でつながる緩いむすび」「受け継がれてきた固いむすび」「時代の変化に対応した新しいむすび」等、多様なむすびを更に強めることにより、「ひと」、「まち」、「しごと」を輝かせ、君津の未来を創っていきます。

本市に関わる全ての方が「むすぶ～多様な“むすび”により君津の未来を創る～」を行動の拠り所にし、次の時代に向けた最初の一步を踏み出します。

第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿

経済と環境が調和したまち

[経済、環境]

【将来の姿】

君津の経済は、力強く活性化しています。臨海部に立地している世界有数の製鉄所と関連企業が輝き、君津インターチェンジ周辺等に産業も生まれ始めています。君津でスタートした企業やお店等が賑わい、スマート農業等の最先端の技術を活用した農業も元気があり、有害鳥獣に対する対策も進んでいます。経済全体が潤い、多くの人が元気に働いています。また、脱炭素社会の実現に向けた様々な取組を市民、企業、行政が協力して行い、地域の経済と環境が調和した再生可能エネルギー等の地産地消も進められています。さらに、水や自然を守り共生し、これらを観光やまちづくりに結びつけることで、君津を訪れ君津を好きになる人や応援してくれる人が増えています。

誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

[健康、福祉]

【将来の姿】

君津では、地域のつながりが強く、「おたがいさま」の気持ちで、みんなが地域福祉の担い手となって、ともに支え合っているため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしています。また、高齢者を含め多くの人たちが、地域の様々な活動に参加していきいきと暮らしています。そして、誰もが活躍できる場所があるため、一人ひとりが自分らしく、いきいきと生活を楽しんでいます。

安心して子育て・子育てできる学びを楽しめるまち

[子育て、教育、文化]

【将来の姿】

今日も子どもたちの明るく元気な声が聞こえてきます。子どもたちの健やかな成長をサポートする「子育て環境」と、世界に羽ばたいていく子どもたちが、様々なことに興味を持ち、自ら学ぶ「子育て環境」が整っています。子どもから高齢者まで、好きな時に、好きな場所で、自由に学べる環境が整っているため、一人ひとりが地域のなかで自己を高め、磨き、生きがいを持って他者と結びつき、充実した人生を送っています。また、世界の人々と触れ合うことができる多文化共生のまちづくりを進めています。さらに、市民が君津市民文化ホール、図書館等をはじめとする市内各所で多彩な文化芸術に触れる機会があり、自発的に文化活動を行い、人生の楽しみや喜びを感じ、活気ある文化のまちが育まれています。

快適で安心して暮らせるまち

[安全安心、都市基盤]

【将来の姿】

地域のみんなと行政と一緒に、地域の様々な場所で防災力を高める活動や災害の被害を減らすための取組が進められています。私たちの暮らしを支える都市基盤も強化され、新たな感染症の脅威や犯罪等から守る体制もしっかりしているため、誰もが安心して暮らしています。また、バリアフリー化が進むなど安全安心な道路環境が整い、公共交通機関も充実しているため、一段と快適に暮らすことができます。さらに、テレワークにより、市内のどこでもいろいろな働き方ができるため、この住みやすさ魅力にあふれた君津に移住・定住する人が増え、まちに賑わいが広がっています。

ともに創る次世代につながるまち

[パートナーシップ、人権、行財政]

【将来の姿】

君津に対する愛着や誇りを持って地域の活動に取り組んでいる大人たちを見て育ったたくさんの若者が、地域やまちや地域にかかわることを「面白い」、「かっこいい」と感じて活動に加わり、地域のつながりがより確かなものになっています。一人ひとりの個性が輝き、誰もがその人らしさを認め、支え合っています。また、他のまち、企業、大学、専門学校、高校等と連携したり、最先端の技術を活用したまちづくりに挑戦したりしています。さらに、将来を見据え、徹底した経営改革を進めてきたため、次世代につながる効果的な財政運営が行われています。

第4 将来デザイン

1 コンセプト

本市の強みとは、多種多様なむすびです。市街地と山間部それぞれの場所に住む人同士のむすび、小櫃川流域と小糸川流域の市内地域間のむすび、アクアラインを通じた君津と都心とのむすび、鉄のまちとしての歩みを背景とした過去と現在のむすび。将来の本市は、これらのむすびを更に強化しつつ、情報・科学技術の進展を活用したむすびの再構築を行いながら、「ひとが輝き 幸せなくきみつ」を目指します。

- ◎新たな核づくりによる都市部の活性化と多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図り、多彩な魅力にあふれた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出
- ◎幹線道路の整備等が本市にもたらす人やモノの流れを確実に取り込み、かずさ地域はもとより南房総の玄関口として、周辺自治体との広域連携を含んだ活力あるまちを創出

2 市内共通及び地区ごとの方向

< 君津地区（小糸川下流域） >

- 臨海部の既存工業地における更なる生産性向上の支援
- 君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実
- 若い世代も住みたくなる住環境の整備
- 低未利用地の活用による定住の受け皿の確保
- 内みのわ運動公園の新たな魅力づくり
- 君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり
- 君津PAスマートインターチェンジ周辺の新たな交流の創出
- 郡ダム周辺の水上スキーを通じた交流の促進

< 小糸・清和地区（小糸川中上流域） >

- 小糸小学校周辺の拠点機能の充実
- 旧秋元小学校を活用した暮らしを支える新たな地域拠点の形成
- かずさアカデミアパークを生かした企業間連携の推進
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進
- 鹿野山及び清和県民の森周辺の観光地としての魅力向上

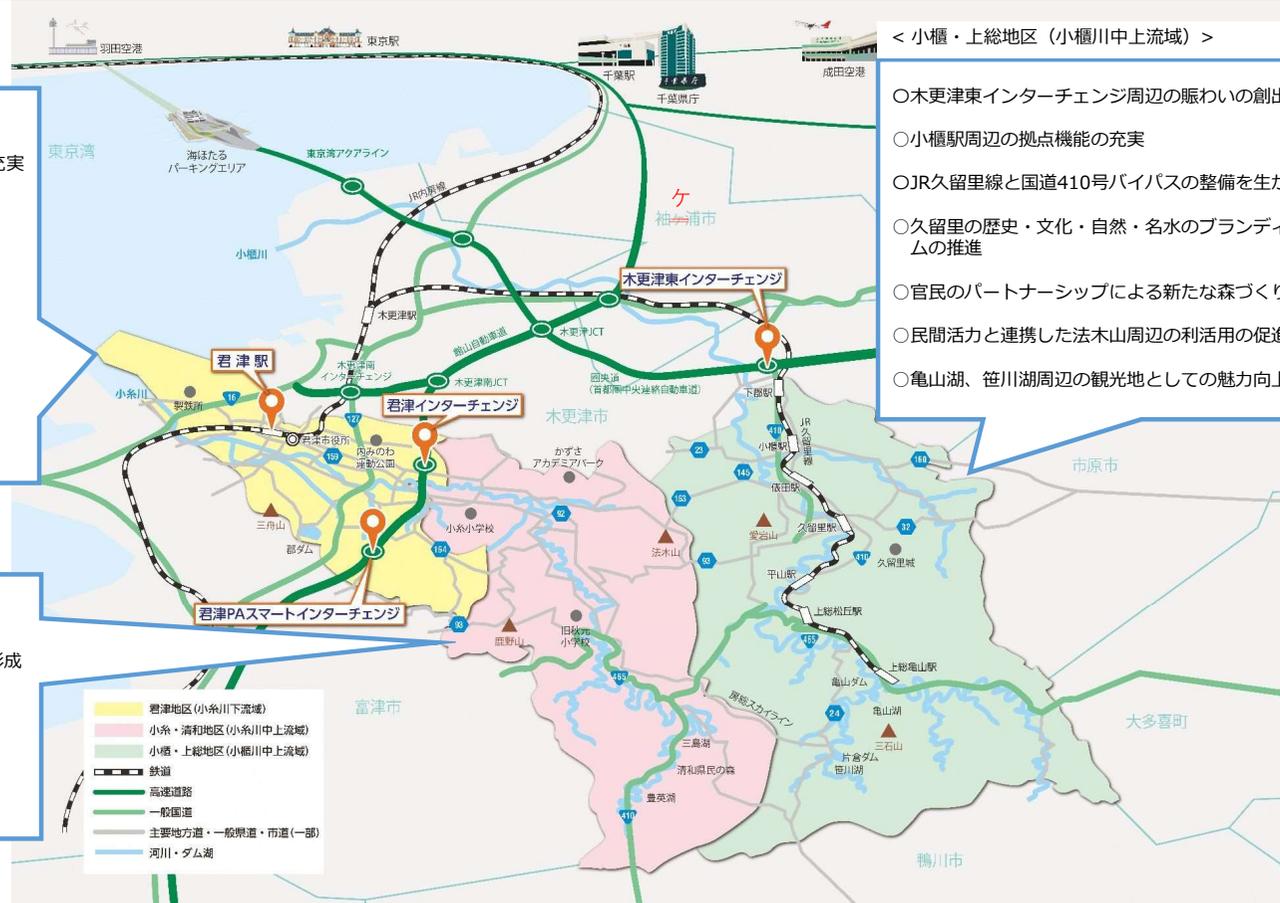
< 市内共通 >

- 地区の特性を生かした雇用の場の創出
- 地区の連携を深める幹線道路の整備促進
- 交通モードの充実、自動運転バスをはじめとする先端技術の導入検討
- 多様性に配慮したユニバーサルデザイン・バリアフリーの促進
- 多様なライフスタイルを支援する空き家を利用した移住や二地域居住の推進

- 市有地や空き公共施設の積極的な利活用
- 砂利採取場跡地の活用
- 自然環境と調和した再生可能エネルギーの様々な活用
- 多様な担い手を支援し、地区の地域資源を活用する農林業の振興
- 人と自然がふれあう里山の保全・整備・利用の促進

< 小櫃・上総地区（小櫃川中上流域） >

- 木更津東インターチェンジ周辺の賑わいの創出
- 小櫃駅周辺の拠点機能の充実
- JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実
- 久留里の歴史・文化・自然・名水のブランディングとグリーンツーリズムの推進
- 官民のパートナーシップによる新たな森づくり
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進（再掲）
- 亀山湖、笹川湖周辺の観光地としての魅力向上



基本構想		
第1 将来ビジョン	第2 行動姿勢	第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿
<p>1 将来都市像</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ</p> </div> <p>多くの「ひと」が自分らしくいきいきと暮らし、「輝く」ことが、まちづくりの原動力になります。</p> <p>そして、「ひと」の「輝き」が広がっていくことで、まち、しごとの「輝き」につながります。</p> <p>この「輝き」の連鎖が、一人ひとりの「幸せ」を「つなぐ」ことになり、新たな時代のまちを築きます。</p> <p>時代が目まぐるしく変化するなかにあっても、一人ひとりが主役となり、誰一人取り残さないために私たちは「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を目指します。</p> <p>2 人口フレーム</p> <p>全国的に人口が減少傾向にあるなか、国の資料に基づく人口推計によると、本市の人口は令和12（2030）年には、73,303人にまで減少すると推計されています。</p> <p>人口が減少すると、生活関連サービス業の減少、空き家や耕作放棄地の増加等を招くほか、税収減により行政サービスの維持が困難となります。</p> <p>本市は、持続可能なまちづくりのために、転出抑制・転入促進を図るとともに、関係人口を拡大し、つながりの連鎖による更なるまちの活性化を図ることにより、令和12（2030）年の人口フレームを77,000人と設定します。</p> <p>●つながりの連鎖のイメージ</p>	<p>むすぶ</p> <p>～多様な“むすび”により</p> <p>君津の未来を創る～</p> <p>昭和45（1970）年に、君津町、小糸町清和村、小櫃村及び上総町が合併し、その翌年の昭和46（1971）年には市制を施行して、県内25番目の市となる君津市が誕生しました。</p> <p>その後、昭和、平成、そして令和といくつもの時代を歩み、この50年、君津は発展してきました。</p> <p>この君津を次の世代へつなぐため、「共感でつながる緩いむすび」「受け継がれてきた固いむすび」「時代の変化に対応した新しいむすび」等、多様なむすびを更に強めることにより、「ひと」、「まち」、「しごと」を輝かせ、君津の未来を創っていきます。</p> <p>本市に関わる全ての方が「むすぶ～多様な“むすび”により君津の未来を創る～」を行動の拠り所にし、次の時代に向けた最初の一步を踏み出します。</p>	<p>第3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>経済と環境が調和したまち [経済、環境]</p> <p>誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち [健康、福祉]</p> <p>安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち [子育て、教育、文化]</p> <p>快適で安心して暮らせるまち [安全安心、都市基盤]</p> <p>ともに創る次世代につながるまち [パートナーシップ、人権、行財政]</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>【将来の姿】 君津の経済は、力強く活性化しています。臨海部に立地している世界有数の製鉄所と関連企業が輝き、君津インターチェンジ周辺等に産業も生まれ始めています。君津でスタートした企業やお店等が賑わい、スマート農業等の最先端の技術を活用した農業も元気があり、有害鳥獣に対する対策も進んでいます。経済全体が潤い、多くの人が元気に働いています。また、脱炭素社会の実現に向けた様々な取組を市民、企業、行政が協力して行い、地域の経済と環境が調和した再生可能エネルギー等の地産池消も進められています。さらに、水や自然と共生し、これらを観光やまちづくりにも結びつけることで、君津を訪れ君津を好きになる人や応援してくれる人が増えています。</p> <p>【将来の姿】 君津では、地域のつながりが強く、「おたがいさま」の気持ちで、みんなが地域福祉の担い手となって、ともに支え合っているため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしています。また、高齢者を含め多くの人たちが、地域の様々な活動に参加して、身近な場所で運動できる機会が充実しスポーツも盛んなため、君津の人たちは健康で、笑顔にあふれています。そして、誰もが活躍できる場所があるため、一人ひとりが自分らしく、いきいきと生活を楽しんでいます。</p> <p>【将来の姿】 今日も子どもたちの明るく元気な声が聞こえてきます。子どもたちの健やかな成長をサポートする「子育て環境」と、世界に羽ばたいていく子どもたちが、様々なことに興味を持ち、自ら学ぶ「子育て環境」が整っています。子どもから高齢者まで、好きな時に、好きな場所で、自由に学べる環境が整っており、知の拠点である図書館等も利用して、一人ひとりが地域のなかで自己を高め、磨き、生きがいを持って他者と結びつき、充実した人生を送っています。また、世界の人々と触れ合うことができる多文化共生のまちづくりを進めています。さらに、市民が君津市民文化ホールをはじめとする市内各所で多彩な文化芸術に触れる機会があり、自発的に文化活動を行い、人生の楽しみや喜びを感じ、活気ある文化のまちが育まれています。</p> <p>【将来の姿】 地域のみんなと行政と一緒に、地域の様々な場所で防災力を高める活動や災害の被害を減らすための取組が進められています。私たちの暮らしを支える都市基盤も強化され、新たな感染症の脅威や犯罪等から守る体制もしっかりしているため、誰もが安心して暮らしています。また、バリアフリー化が進むなど安全安心な道路環境が整い、公共交通機関も充実しているため、一段と快適に暮らすことができます。さらに、テレワークにより、市内のどこでもいろいろな働き方ができるため、この住みやすく魅力にあふれた君津に移住・定住する人が増え、まちに賑わいが広がっています。</p> <p>【将来の姿】 君津に対する愛着や誇りを持って地域の活動に取り組んでいる大人たちを見て育ったたくさんの若者が、まちや地域にかかわることを「面白い」、「かっこいい」と感じて活動に加わり、地域のつながりがより確かなものになっています。一人ひとりの個性が輝き、誰もがその人らしさを認め、支え合っています。また、他のまち、企業、大学、専門学校、高校等と連携し、最先端の技術を活用したまちづくりに挑戦しています。さらに、将来を見据え、徹底した経営改革を進めてきたため、次世代につながる効果的な財政運営が行われています。</p> </div> </div>

第4 将来デザイン

1 コンセプト

本市の強みとは、多種多様なむすびです。市街地と山間部それぞれの場所に住む人同士のむすび、小櫃川流域と小糸川流域の市内地域間のむすび、アクアラインを通じた君津と都心とのむすび、鉄のまちとしての歩みを背景とした過去と現在のむすび。これらのむすびを更に強化しつつ、情報・科学技術の進展を活用したむすびの再構築を行いながら、「ひとが輝き 幸せつなく きみつ」を目指します。

- ◎新たな核づくりによる都市部の活性化と多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図り、多彩な魅力にあふれた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出
- ◎幹線道路の整備等が本市にもたらす人やモノの流れを確実に取り込み、かずさ地域はもとより南房総の玄関口として、周辺自治体との広域連携を含んだ活力あるまちを創出

2 市内共通及び地区ごとの方向

< 君津地区（小糸川下流域） >

- 臨海部の既存工業地における更なる生産性向上の支援
- 君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実
- 若い世代も住みたくなる住環境の整備
- 低未利用地の活用による定住の受け皿の確保
- 内みのわ運動公園の新たな魅力づくり
- 君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり
- 君津PAスマートインターチェンジ周辺の新たな交流の創出
- 郡ダム周辺の水上スキーを通じた交流の促進

< 小糸・清和地区（小糸川中上流域） >

- 小糸小学校周辺の拠点機能の充実
- 旧秋元小学校を活用した暮らしを支える新たな地域拠点の形成
- かずさアカデミアパークを生かした企業間連携の推進
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進
- 鹿野山及び清和県民の森周辺の観光地としての魅力向上

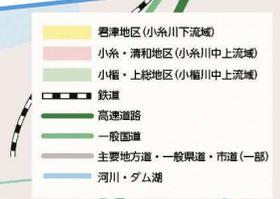
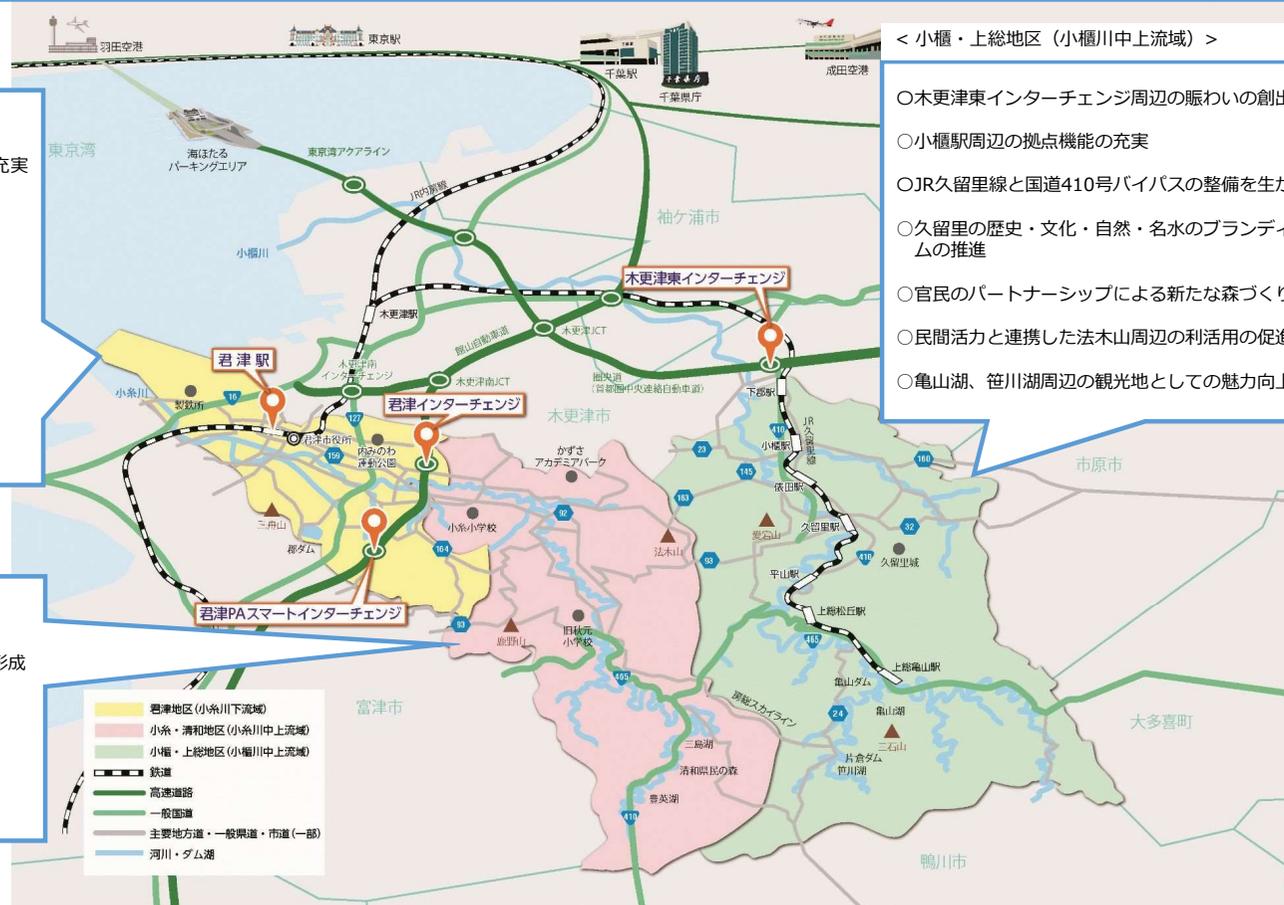
< 市内共通 >

- 地区の特性を生かした雇用の場の創出
- 地区の連携を深める幹線道路の整備促進
- 交通モードの充実、自動運転バスをはじめとする先端技術の導入検討
- 多様性に配慮したユニバーサルデザイン・バリアフリーの促進
- 多様なライフスタイルを支援する空き家を利用した移住や二地域居住の推進

- 市有地や空き公共施設の積極的な利活用
- 砂利採取場跡地の活用
- 自然環境と調和した再生可能エネルギーの様々な活用
- 多様な担い手を支援し、地域資源を活用する農林業の振興
- 人と自然がふれあう里山の保全・整備・利用の促進

< 小櫃・上総地区（小櫃川中上流域） >

- 木更津東インターチェンジ周辺の賑わいの創出
- 小櫃駅周辺の拠点機能の充実
- JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実
- 久留里の歴史・文化・自然・名水のブランディングとグリーンツーリズムの推進
- 官民のパートナーシップによる新たな森づくり
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進（再掲）
- 亀山湖、笹川湖周辺の観光地としての魅力向上



君津市総合計画 基本構想

(案)

第1 将来ビジョン

1 将来都市像

目標年次である令和 12(2030)年の将来都市像を次のとおり掲げます。

ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ

多くの「ひと」が自分らしくいきいきと暮らし、「輝く」ことが、まちづくりの原動力になります。

そして、「ひと」の「輝き」が広がっていくことで、まち、しごとの「輝き」につながります。

この「輝き」の連鎖が、一人ひとりの「幸せ」を「つなぐ」ことになり、新たな時代のまちを築きます。

時代が目まぐるしく変化するなかにあっても、一人ひとりが主役となり、誰一人取り残さないために私たちは「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」を目指します。

2 人口フレーム

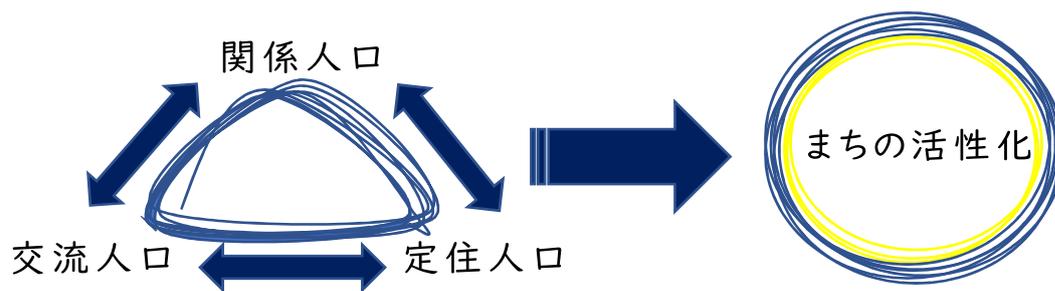
全国的に人口が減少傾向にあるなか、国の資料に基づく人口推計によると、本市の人口は令和 12(2030)年には、73,303 人にまで減少すると推計されています。

人口が減少すると、生活関連サービス業の減少、空き家や耕作放棄地の増加等を招くほか、税収減により行政サービスの維持が困難となります。

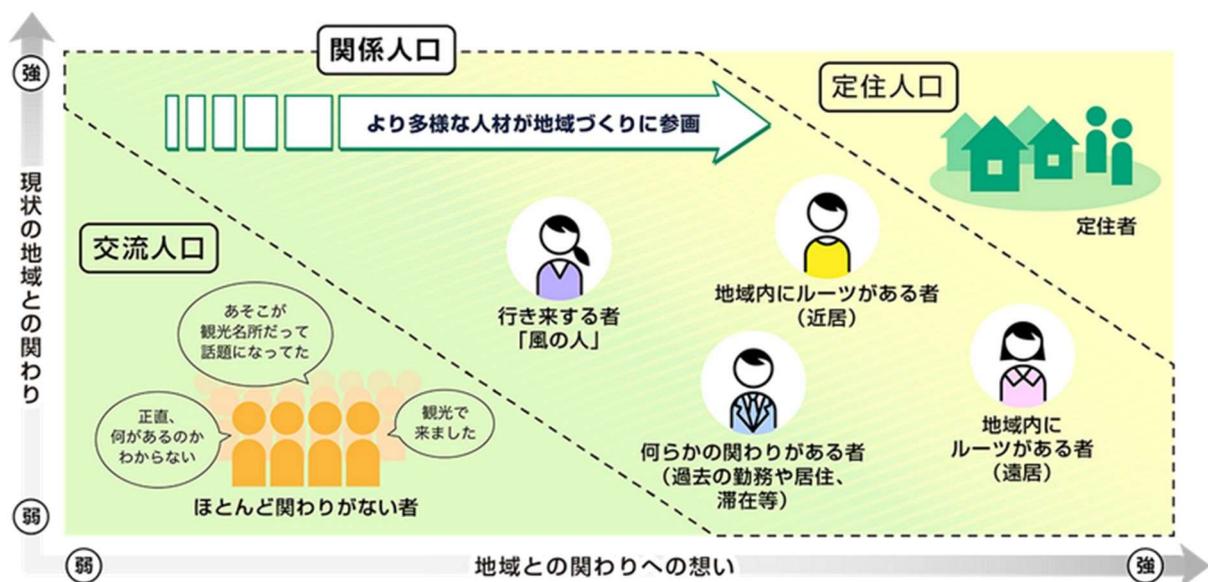
本市は、持続可能なまちづくりのために、転出抑制・転入促進を図るとともに、関係人口を拡大し、つながりの連鎖による更なるまちの活性化を図ることにより、令和 12(2030)年の人口フレームを 77,000 人と設定します。

令和 12(2030)年の人口フレーム 77,000 人

※つながりの連鎖のイメージ



※「関係人口」とは、移住やもともと住んでいる「定住人口」ではなく、買い物や観光等で来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。



(出所) 総務省ホームページ

第2 行動姿勢

むすぶ

～多様な“むすび”により君津の未来を創る～

昭和 45（1970）年に、君津町、小系町、清和村、小櫃村及び上総町が合併し、その翌年の昭和 46（1971）年には市制を施行して、県内 25 番目の市となる君津市が誕生しました。

その後、昭和、平成、そして令和といくつもの時代を歩み、この 50 年、君津は発展してきました。

この君津を次の世代へつなぐため、

「共感でつながる緩いむすび」

「受け継がれてきた固いむすび」

「時代の変化に対応した新しいむすび」

等、多様な むすび を更に強めることにより、「ひと」、「まち」、「しごと」を輝かせ、君津の未来を創っていきます。

本市に関わる全ての方が

「むすぶ ～多様な“むすび”により君津の未来を創る～」

を行動の拠り所にし、次の時代に向けた最初の一步を踏み出します。

第 3 将来ビジョンを実現するための柱と将来の姿

将来ビジョンを実現するため、5つの分野ごとに令和12（2030）年を展望した将来の姿を示します。

将来ビジョンを実現するための柱 その1

【関連する分野】
経済、環境

経済と環境が調和したまち

◆将来の姿◆

君津の経済は、力強く活性化しています。

臨海部に立地している世界有数の製鉄所と関連企業が輝き、君津インターチェンジ周辺等に産業も生まれ始めています。君津でスタートした企業やお店等が賑わい、スマート農業等の最先端の技術を活用した農業も元気があり、有害鳥獣に対する対策も進んでいます。

経済全体が潤い、多くの人が元気に働いています。

また、脱炭素社会の実現に向けた様々な取組を市民、企業、行政が協力して行い、地域の経済と環境が調和した再生可能エネルギー等の地産地消も進められています。さらに、水や自然と共生し、これらを観光やまちづくりにも結びつけることで、君津を訪れ君津を好きになる人や応援してくれる人が増えています。

将来ビジョンを実現するための柱 その2

【関連する分野】
健康、福祉

誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

◆将来の姿◆

君津では、地域のつながりが強く、「おたがいさま」の気持ちで、みんなが地域福祉の担い手となって、ともに支え合っているため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしています。

また、高齢者を含め多くの人たちが、地域の様々な活動に参加して、身近な場所で運動できる機会が充実しスポーツも盛んなため、君津の人たちは健康で、笑顔にあふれています。

そして、誰もが活躍できる場所があるため、一人ひとりが自分らしく、いきいきと生活を楽しんでいます。

将来ビジョンを実現するための柱 その3

【関連する分野】
子育て、教育、文化

安心して子育て・子育てでき 学びを楽しめるまち

◆将来の姿◆

今日も子どもたちの明るく元気な声が聞こえてきます。

子どもたちの健やかな成長をサポートする「子育て環境」と、世界に羽ばたいていく子どもたちが、様々なことに興味を持ち、自ら学ぶ「子育て環境」が整っています。

子どもから高齢者まで、好きな時に、好きな場所で、自由に学べる環境が整っており、知の拠点である図書館等も利用して、一人ひとりが地域のなかで自己を高め、磨き、生きがいを持って他者と結びつき、充実した人生を送っています。

また、世界の人々と触れ合うことができる多文化共生のまちづくりを進めています。

さらに、市民が君津市民文化ホールをはじめとする市内各所で多彩な文化芸術に触れる機会があり、自発的に文化活動を行い、人生の楽しみや喜びを感じ、活気ある文化のまちが育まれています。

将来ビジョンを実現するための柱 その4

【関連する分野】
安全安心、都市基盤

快適で安心して暮らせるまち

◆将来の姿◆

地域のみならず行政と一緒に、地域の様々な場所で防災力を高める活動や災害の被害を減らすための取組が進められています。私たちの暮らしを支える都市基盤も強靱化され、新たな感染症の脅威や犯罪等から守る体制もしっかりしているため、誰もが安心して暮らしています。

また、バリアフリー化が進むなど安全安心な道路環境が整い、公共交通機関も充実しているため、一段と快適に暮らすことができます。

さらに、テレワークにより、市内のどこでもいろいろな働き方ができるため、この住みやすく魅力にあふれた君津に移住・定住する人が増え、まちに賑わいが広がっています。

将来ビジョンを実現するための柱 その5

【関連する分野】

パートナーシップ、人権、行財政

ともに創る次世代につながるまち

◆将来の姿◆

君津に対する愛着や誇りを持って地域の活動に取り組んでいる大人たちを見て育ったたくさんの若者が、まちや地域にかかわることを「面白い」、「かっこいい」と感じて活動に加わり、地域のつながりがより確かなものになっています。

一人ひとりの個性が輝き、誰もがその人らしさを認め、支え合っています。

また、他のまち、企業、大学、専門学校、高校等と連携し、最先端の技術を活用したまちづくりに挑戦しています。さらに、将来を見据え、徹底した経営改革を進めてきたため、次世代につながる効果的な財政運営が行われています。

第 4 将来デザイン

1 コンセプト

本市の強みとは、多種多様なおすびです。

市街地と山間部それぞれの場所に住む人同士のおすび

小櫃川流域と小系川流域の市内地域間のおすび

アクアラインを通じた君津と都心とのおすび

鉄のまちとしての歩みを背景とした過去と現在のおすび

これらのおすびを更に強化しつつ、情報・科学技術の進展を活用したおすびの再構築を行いながら、「ひとが輝き 幸せつなく きみつ」を目指します。

◎新たな核づくりによる都市部の活性化と多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図り、多彩な魅力にあふれた多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出

◎幹線道路の整備等が本市にもたらす人やモノの流れを確実に取り込み、かずさ地域はもとより南房総の玄関口として、周辺自治体との広域連携を含んだ活力あるまちを創出



2 市内共通の方向

- 地区の特性を生かした雇用の場の創出
- 地区の連携を深める幹線道路の整備促進
- 交通モードの充実、自動運転バスをはじめとする先端技術の導入検討
- 多様性に配慮したユニバーサルデザイン・バリアフリーの促進
- 多様なライフスタイルを支援する空き家を利用した移住やニ地域居住の推進
- 市有地や空き公共施設の積極的な利活用
- 砂利採取場跡地の活用
- 自然環境と調和した再生可能エネルギーの様々な活用
- 多様な担い手を支援し、地域資源を活用する農林業の振興
- 人と自然がふれあう里山の保全・整備・利用の促進
- 名物や特産品を生かした魅力づくり
- 地産地消と食育等の推進による地域農業・農作物への理解促進
- 有害鳥獣対策の促進による暮らしやすい環境づくり
- 地域に密着した消防団と自主防災組織による地域防災力の向上

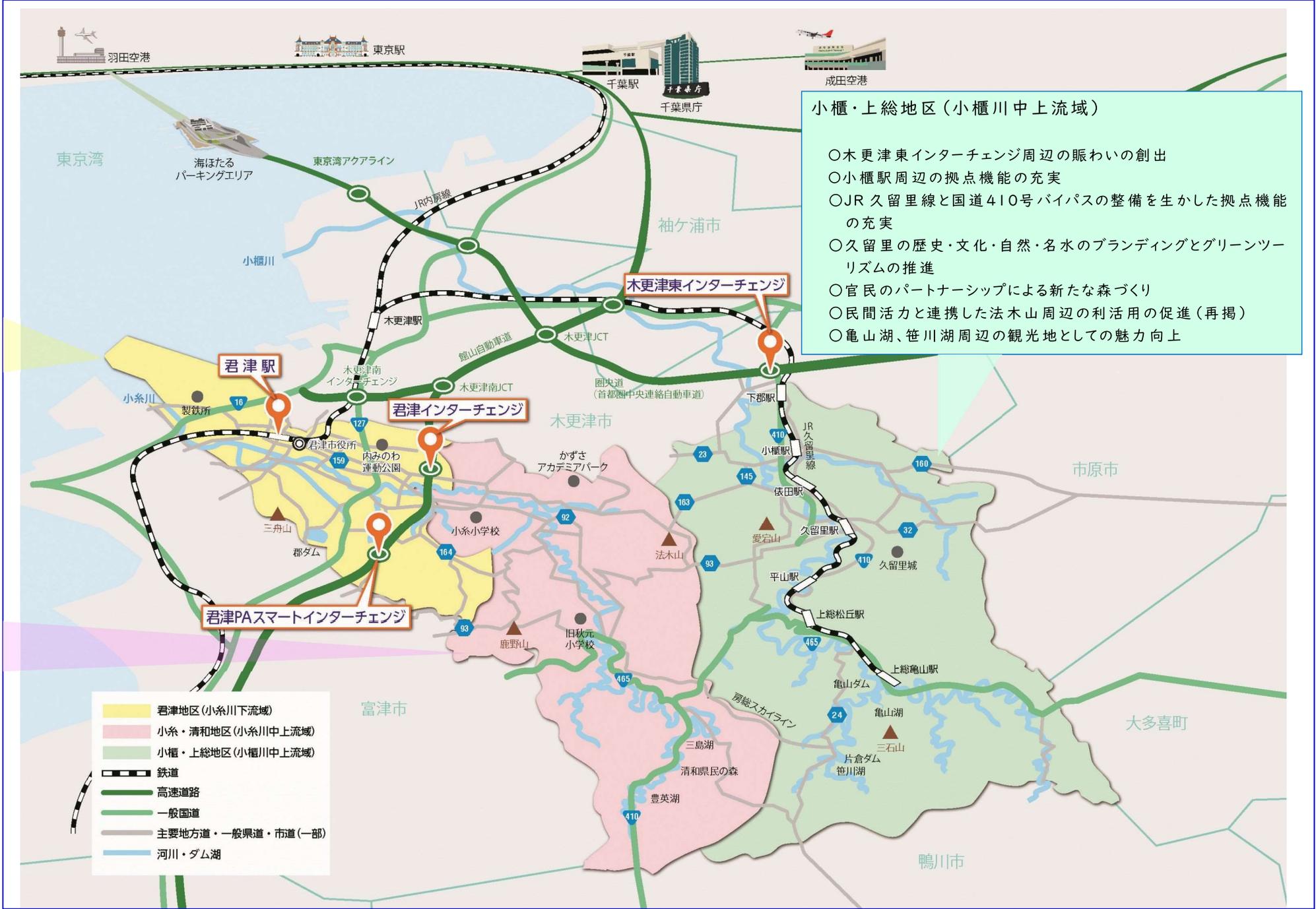
3 地区ごとの方向

君津地区（小系川下流域）

- 臨海部の既存工業地における更なる生産性向上の支援
- 君津駅周辺の商業・医療・福祉等の集積による都市機能の充実
- 若い世代も住みたくなる住環境の整備
- 低未利用地の利活用による定住の受け皿の確保
- 内みのわ運動公園の新たな魅力づくり
- 君津インターチェンジ周辺の新たな産業の受け皿づくり
- 君津 PA スマートインターチェンジ周辺の新たな交流の創出
- 郡ダム周辺の水上スキーを通じた交流の促進

小系・清和地区（小系川中上流域）

- 小系小学校周辺の拠点機能の充実
- 旧秋元小学校を活用した暮らしを支える新たな地域拠点の形成
- かずさアカデミアパークを生かした企業間連携の推進
- 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進
- 鹿野山及び清和県民の森周辺の観光地としての魅力向上



- 小櫃・上総地区(小櫃川中上流域)
- 木更津東インターチェンジ周辺の賑わいの創出
 - 小櫃駅周辺の拠点機能の充実
 - JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実
 - 久留里の歴史・文化・自然・名水のブランディングとグリーンツーリズムの推進
 - 官民のパートナーシップによる新たな森づくり
 - 民間活力と連携した法木山周辺の利活用の促進(再掲)
 - 亀山湖、笹川湖周辺の観光地としての魅力向上

君津地区(小糸川下流域)
 小糸・清和地区(小糸川中上流域)
 小櫃・上総地区(小櫃川中上流域)
 鉄道
 高速道路
 一般国道
 主要地方道・一般県道・市道(一部)
 河川・ダム湖